

# 三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-beisuin@wing.ocn.ne.jp



▲本年の出仕の様子。感染症対策で、一畳につき一名着座で、内陣は計六名、両余間はそれぞれ九名まで、外陣も三列に制限し、マスク着用で勤められた。

二〇二〇年の三條別院お取り越し報恩講は、依然として収束の兆しの見えない新型コロナウイルス感染症の影響で、お待ち受け音楽法要、団体参拝、帰敬式、お斎、シアターサンジヨゴボ、ごぼさま寄席が中止となりました。法要においては九月に本山から鍵役の御参修が本年度中は休止される決定が通達されました。報

## お取り越し報恩講厳修

新型コロナウイルス感染症流行下で法要が円成

恩講実行委員会（青木仁座長）では、親鸞聖人の御命日である報恩講の意味を改めて考える機会と捉え、輪番調声で四日間を通して、従来通りの次第で法要を勤めることとなりました。

### 「毎年不欠」

蓮如上人は文明七（一四七五）年に吉崎を退去され、河内国茨田郡中振の郷出口村に移られ、再び近畿を中心に教化され、その際に「毎年不欠」の御文を記されたそうです。応仁の乱（一四六七～一四七七）や北陸加賀の地での騒乱と

いう激動の吉崎時代を振り返りながら、親鸞聖人の御正忌報恩講に「あいたてまつる」ことができた喜びが記されています。度重なる戦乱で多くの人命が奪われた時代と現代をくらべるならば、かえって「平和」な時代が続いていたこと自体が例外なのかもしれません。

### 「教区内の内勤め」

三條別院の崇敬区域は、三條教区全域であり、三條教区の全寺院の維持金により支えられています。このたびは「内勤め」といっても職員による院内勤めでなく、「教区内の内勤め」として、

院議会議員・教区会議員に特に結願速夜・結願晨朝・結願日中への内陣出仕を御依頼しました。お取り越し直前には、第十組・第十二組・第十五組・第二十三組の全寺院を、

御懇志のお願いを中心に、職員が巡回させていただきました。各寺院でも報恩講をどのように勤めるのか、悩んでいることを多くお聞きました。報恩講実行委員会でも確認された「お勤まりになる」という表現の意味を改めて考えていく必要があるのかもしれない。

### 「新型コロナウイルス感染症下における法要」

八日結願日中を、ケンオードットコムにご協力いただき、ライブ配信しました。（法要の様子は現在でもYouTubeに記録があります。）

また、三条エール飯お取り越し報恩講<sup>くわん</sup>を作  
成し、お斎のかわりに近隣の飲食店で食事ある  
いはテイクアウトしていただきました。重ねて、  
参拝部委員・スタッフを中心に感染症対策で受  
付での検温・記帳、堂内の換気・除菌を徹底し、  
おかげで病人もでることがなく、無事に円成を  
迎えることができたことを御礼申し上げます。

### 【法話要旨】富沢慶栄氏（第二十一組超願寺）

※要旨の抜粋は事務局で行いました。

今後YouTubeに動画をアップする予定です。



三月の「新潟日報」で新潟市の神社で悪霊退散の祈祷が行われ、新型コロナウイルスの早期収束を願ったという記事を見て、まるで千年前にタイムスリップしたかのような違和感を覚える。加持祈祷でコロナウイルスを撲滅できるわけはない。しかし恥ずかしながら、「こんな時こそ南無阿弥陀仏だ」と言い切れない自身がいた。親鸞聖人であればこんな時、どのように言われるか改めて考えてみた。蓮如上人は『御文』四帖目第九通にある「疫病の御文」を記しているが、親鸞聖人は「疫病」や「はやり病」という言葉を使用されていない。参考になるのは『末燈鈔』の第六通、文応元（一二六〇）年十一月十三日善信八十八歳とある、親鸞聖人最晩年の御消息である。『真宗聖典』六〇三頁）

「なによりも、こそごとし、老少女女おおくのひとびとのしにあって候らんことこそ、あわれにそうらえ。ただし、生死無常のことわり、くわしく如来のときおかせおわしましてそうろううえは、おどろきおぼしめすべからずそうろう。まず、善信が身には、臨終の善悪をばもうさず、信心決定のひとは、うたがいなければ、正定聚に住することにて候うなり。さればこそ、愚痴無智のひともおわりもめでたく候え」

全国で人が飢饉でばたばた亡くなる時代、正嘉の飢饉によって元号が正元にかわるも収束せず、文応に変わる。朝廷は全国の寺院に現世利益のための『金光明経』を誦読するように命じている。また、延暦寺の宗徒たちが慈恵大師の

姿（角大師）を一万部木版刷りにして悪霊退散を願ったという記録がある。慈恵大師は源信僧都の師匠で自らも悪魔の形となつて悪魔を退散させるという修業をされた方と伝わる。

最晩年の親鸞聖人は、そんな中で、生死無常であるので、生まれたら死ぬことはおどろくことではない。「信心決定のひとは、うたがいなければ、正定聚に住することにて候うなり。さればこそ、愚痴無智のひともおわりもめでたく候え」といわれる。このたびこの御消息をあらためて拝読し、私は大変、大きな発見をいただいた。親鸞聖人は「臨終を「めでたい」とおっしゃっている。他にも御消息集には明法房（山伏弁円）が、往生された様子を「かえすがえすうれしうそうろう」「御よろこびにてそうろう」と記し、「ひらつかの入道」の往生を「めでたさ、もうしつくすべくもそうらわす」（『真宗聖典』五六〇頁）という表現されている。

実は私はこの四〇五年葬儀・通夜の法話で「おめでとう」ということに挑戦している。新潟親鸞学会会長の廣澤憲隆先生が「通夜は人生学校の卒業式」だとおっしゃっている。ご卒業おめでとうございます、これまでお疲れさまでしたとお伝えしたい。本当に辛い、悲しい、苦しい葬儀においては「めでたいとは何ごとだ」とおしかりを受ける時もある。例えば就職先が決まっていないう卒業式を迎えてしまった時、つらい気持ちがある。つらい卒業式とうきうきした卒業式の違いはどこにあるのか？これは皆さ



んにぜひお考えいただきたい。その分かれ目は、これから卒業したあとに、光あふれる形が開かれていく実感があるかどうか。葬儀では死んだ先の「校長先生」が、お壇の上の真ん中にいらつしやる。極楽浄土に入学してもらったための式なのだ。昔はお年寄りから、そういう生活あるいは考えを聞いたものであるが、今は無くなってしまった。明治政府の政策以来、学校では宗教の話を読むことができなくなっている。

これは実は感染症にもからんだ話である。十四世紀にヨーロッパをペストが襲い、人口の三分の一から四分の一が亡くなっていく。この時にキリスト教会は人々のいのちを助けることができなかつたために一挙に力を失ってしまった。その後、キリスト教以前のギリシア・ローマの人間を中心とする文化を復興しようという「ルネッサンス」の運動が起こってくる。人間中心主義はそういう中で、産業革命と結びつき、近代国家が成立する。その西洋列強と対抗するため、明治政府以来、極楽浄土という世界観を封じ込め、否定しつつ、靖国という考え方を植えつけてきた。その中で改めて、今、極楽浄土を回復していくことが、私にとって緊急の課題ではないか。少し昔までは、人は最期を迎える直前に、住職が呼ばれて説法があり、安心して亡くなっていた。『卒業おめでとう。葬儀はお浄土に、光あふれるステージに故人がいられる式なのだ』とお伝えしたい。自分自身の帰る行方を考えるきっかけをいただくのが、報恩講の大事な意味合いでもあるのでしよう。

報恩講って何だろう？

「今日は鸞聖人の御明日として」

(『御文』三帖目九通)

何度も練習して気になっていた。命日を明日と書いている。親鸞聖人の命日を通して何を明らかにするかという問いかけであろうか。私は何のために人として生まれ、何処へ行くのか。蓮如上人は御明日の言葉で方向転換を促している。私の明日はどっちだ。

(廣河)

「知恩の点検」

(池田勇締)

本年の三条別院お取り越し報恩講では、掛役と助音を務めさせていただき、久しぶりに法要中の後堂での静粛でいて心地よい空気を感じることができた。池田勇締先生は知恩の点検が報恩講のご縁と言われている。今回は内勤めということもあり法要に臨む自身を問う時間を多く持たせていただいたが、報恩講の円成を経て自身の多くの課題に考えさせられる。

(松浦)

「水に入りて垢おちず」

(『御俗姓』)

信心を得ることがなければ、報恩講にならない。風呂に入って垢が落ちていないようなものだ。ある師曰く「水に入って落ちる垢ならば罪悪深重ではない」。『御俗姓』を改めて読む。「名聞のこころをもって報謝と号す」。私はなぜ報謝しているふりを...? 七日結願速夜後、御俗姓拝読を終えて、今考える。

(斎木)

「師主知識の恩徳もほねをくだきても謝すべし」

(『正像末和讃』)

皆様とお勤めをしていく中で、自らも願われている身であることを自覚することが大切だと考えさせられた報恩講だった。私自身、自分の思い・はからいでどうかなると考えている者であることを忘れず、教えの言葉を聞いていきたい。

(田澤)

「Like a Rolling Stone」

(ボブ・ディラン)

あるのになかったことにしたり前のめりですってんころりのライクアローリングストーンハウダズイットフィール?

「原点に帰って未来を開く」だ三条別院の本堂に座って思った

(関崎)

「そのかごを水につけよ」

(『蓮如上人御一代記聞書』)

籠に水を入れても流れていくように、仏法に出遇っても右耳から入って左耳から出て行くのが私の心である。報恩講はその籠のような私の心を、仏法という水に浸して...くれたのだろうか? 仏法に浸りたいとも思わない撥水加工された籠がここにいる。後片付け後、御浚えの御文を拝読して。

(小原)

列座が自身の担当を中心に振り返る報恩講



【『御伝鈔』上巻を海岸輪番が5日に拝読。後堂の出仕溜と法要直前の廊下の様子】



【『御伝鈔』下巻を廣河暁氏（第二十一組光照寺）が6日に拝読】

▲推進員スタッフの検温（右上）、諸殿拝観（右下）。  
▲結願日中後の御礼言上（左）  
▲三昼夜四日間にわたる法要ですので、紙幅の都合で、掲載できません。記録写真は順次HPにあげていきますのでぜひご確認ください。





## 三条別院に想う

### 【特別編⑧報恩講を支える裏方】

▲今回は法要前の火の管理や遺真の準備や法要中の仏具をお運びする掛役(かかりやく)に焦点を当てました。

三条別院のみなさん、お取り越し報恩講お疲れ様でした。今年にはコロナウィルスの影響で例年のお取り越しとは違い、一般お参拝や本山お鍵役の御参修が中止になり、毎年お手伝いさせていたでいてる掛役の仕事も例年より少なくなりました。しかしこんな状況のなかでも声をかけていただき、三条別院、掛役のみなさんと共にお取り越し報恩講のお手伝いをさせて頂いていただけことはとてもありがたいと感じております。式中の仕事は少なかつたのですが、新しく太鼓やがん木のやり方を教えていただきとても勉強になりました。

私が掛役をお手伝いさせて頂いてもらうようになったのは御遠忌法要の少し前くらいだったので七年ほど前になるかと思えます。掛役をはじめた頃は本当に何もわからずにいましたので習礼の時は所作するたびに注意され、まったく前に進めませんでした。緊張して体が自分の思うように動かず仏具がとて重く感じていました。あの当時は私だけができない事が辛くて何度もやめたいと思っていました。それでも諦めずに毎年続けて参加していくうちにある年からなんとなくですが、体が覚えてきた様で、次にどう所作すればいいのか考えなくてもだんだんと動けるようになってきました。誰よりもできなかつたので、その分自分が成長していくことを毎年感じられています。今では毎年のお取り越しの掛役の仕事が終わらないと年が越せないくらい、自分の中では大事な行事であり、大切な仕事であると感じられるようになりました。何もできなかった私を懲りずに毎年教えて下さった安藤さんをはじめ掛役の先輩方にはとても感謝しています。元気な限り、これからも掛役のお手伝いをさせて頂きたいと思えます。

今年には自粛で毎年行われていたお取り越し中の莊嚴固めもできなかった事が少し物足りなく残念に感じました。来年にはまた通常通りに戻って掛役のみなさんと一緒に三条別院お取り越し報恩講を勤められる事を願っています。

光井 証吾氏(第十九組 法嚴寺)



○次回の「三条別院に想う」は、

福田 学氏(第十五組善性寺)より

ご執筆いただきます。

### 【次回は特別編⑨ 本寺小路は今】

別院の参道、本寺小路には真宗兩徒も多く、飲食店は新型コロナウイルスの影響を受けています。冬を迎えるにあたり、善性寺の福田住職に、御門徒の声を中心にお聞きします。

### 御煤払い・除夜の鐘・修正会のご案内

当別院では毎年十二月に、一年で溜まった埃を払う「御煤払い奉仕団」を開催しております。どなたでもご参加いただけます。御本尊、宗祖真向の御影(まむきのごえい)の御煤払いの後、皆さんで内陣を清掃する、希な機会ですので、ぜひご参加ください。

#### 御煤払い奉仕団

◇日時 十二月二十日(日)

午前九時より正午まで

◇場所 三条別院本堂

◇持ち物 勤行集、念珠

◇締切 十二月十八日(金)までに当別院

までご連絡ください。

◇冥加金 五百円(お弁当を)用意します)

◇その他 清掃ですので、動きやすい服装で

ご参加ください。

#### 除夜の鐘

◇日時 十二月三十一日(木)

午後十一時四十五分より

◇場所 三条別院鐘樓堂

◇受付 三条別院旧御堂

#### 修正会

◇日時 二〇二二年一月一日(金)

深夜午前零時より

◇場所 三条別院本堂・旧御堂

○お勤め後、輪番による新年の挨拶

★除夜の鐘×すす払い×むさしや

人気菓子シユトーレン。ドイツやフランスでは冬が始まると売られ始め、薄くスライスし、徐々に味の変化を楽しみます。別院行事宣伝バナージョンを店頭にて五百円で発売しています。

★除夜の鐘×今泉

除夜の鐘の整理券を「今泉(そば)」に持参すると、五百円で年越しそばが食べられるなど、特別サービスが受けられます。

## 宗 祖 御 命 日 の 集 い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話を行います(座談会は休止中)。どなたでもお参りいただけますので、皆様のご参詣をお待ち申し上げます。なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◆日時 十二月二十八日(月) 午前十時より

◆会場 三条別院 本堂

◆お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讃 洵五

和讃 回口 次第第六首

回 向 願以此功德

◎今月の法話講師

木村邦和氏(第十三組専行寺)

『歎異抄』に聞く『第十七章』



▲一月からの法話講師は次号で案内します。

▲法話の記録【廣河が『歎異抄』に聞く』をHPで更新中です！ <http://sanjobetsuin.or.jp>

## 定 例 法 話 会 の ご 案 内

毎月十三日は親鸞聖人の月命日(二十八日)とあわせて「両度の御命日」と呼ばれている團如上人の御命日です。『御文』四帖目十二通参照) 午後一時三十分より一時間程度の法話をいたします。お昼からの法話会ですので、お気軽にお立ち寄りください。

◆日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く 午後一時三十分より(一時間程度)

◆場所 三条別院 旧御堂

◆講師 十二月 田村 大輔氏(第二組専念寺)

◆聴講無料、どなたでも自由にお参りください。

◆その他の講座等について

○別院書道教室 (毎月第一、第四水曜日 午後六時三十分～八時)

講師 木原光威氏(新潟県書道協会理事)

月謝 三二〇〇円(テキスト代含む)

○別院声明教室(十二月まで中止)

○庭講「毎月十三日」

ご一緒に別院のお庭を整備していきませんか?

○花講・三条別院有志の会【現在休止中】

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○別院奉仕研修・三条別院巡回【要相談】

○フードバンク 食品等のご寄付は継続募集中。



【御礼】後藤綾袴表からマスクを「寄付いただきました。辰村美術織物の裂地を使用しましたものでお取り越しの結願日中にて内陣出仕者が着用しました。後藤さんは「願わくはこのマスクですら使用せず、コロナ騒動以前の様に生の声を、門徒さんの耳に、心に仏法を届けていただけ」と添えられています。

## ◆編集後記◆

今年も別院のお取り越し報恩講がお勤まりになった。今年は新型コロナウイルスの影響で例年より規模が縮小され、団体参拝や音楽法要、帰敬式、土産物、お斎などが中止となり、さらに参詣者や出仕者、スタッフには検温・消毒を徹底してもらうなど、そういった対応の面でも、いつもとは雰囲気の違い、そんな報恩講だと感じた。しかし、そのような状況下でも、いつもと規模が違っても、報恩講がお勤まりになったということに変わりはない。露店とか、お土産とか、辛みそだけが報恩講ではない(ないと寂しいけど)。毎年、あるいは今年初めて報恩講に関わってくださいましたスタッフの方々、法要に出仕、参勤いただいた方々、そして何より、コロナ下の中お参りいただいた参詣者の方々、そういった方々が思いを共にして、それぞれが役割を尽くして、お勤まりになった。来年の報恩講がどのようになるのかわからないが、どんな形であれ、「毎年不欠」にお勤まりになるだろう、そんなことを今回の報恩講を通して感じた。(小原)



# 三条教区通信

## 第159号

発行日 2020年11月27日  
 発行者 三条教務所長 海岸秀道  
 発行所 真宗大谷派三条教務所  
 〒955-0071 三条市本町2丁目1-57  
 Tel (Fax): 0256-33-2805 (2847)  
 Email: sanjo@higashihonganji.or.jp  
 Website: https://sanjobetsuin.or.jp/

### 今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

智慧・慈悲のはたらき  
 そのものが「仏」なのです

坂東 性純

The working of wisdom and compassion  
 itself is the "Buddha."

Bando Shōjun

### 三条教区災害対策委員会のお知らせ

三条教区災害支援実行委員会の活動にご協力ください  
 災害救援・復興カンパ金につきまして、引き続き勧募いたしております。今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、宗派では困難な状況に直面している被災地や被災者の方へ1日も早く宗派救援金をお届けするため、災害の種類や発生の有無に関わらず、「災害救援金口座」を設けて対応しております。何卒ご協力ください。

【真宗大谷派災害救援金口座】

【郵便振替口座番号】00920-3-203053

【加入者名】真宗大谷派

### 研修会のご案内

#### ■ 教学研究会「教行信証輪読学習会」

- ◆日 時 2020年12月3日(木)16:00~17:00
- ◆場 所 三条別院
- ◆内 容 「安田理深講述 正信偈講義」の輪読
- ◆対 象 どなたでも(申込不要)
- ◆参加費 無料
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西村)

#### ■ 教学研究会「化身土輪読会」

- ◆日 時 2020年12月17日(木)16:00~17:00
- ◆場 所 三条別院
- ◆内 容 藤場俊基著『親鸞の教行信証を読み解くV』の輪読
- ◆対 象 どなたでも(申込不要)
- ◆参加費 無料
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西村)

#### ■ 教学研究会

- ◆日 時 ①2020年12月 8日(火)13:30~18:30  
 9日(水)10:00~17:00

- ②2021年 3月 1日(月)13:30~18:30  
 2日(火)10:00~17:00
- ③2021年 5月 18日(火)13:30~18:30  
 19日(水)10:00~17:00

- ◆場 所 三条別院
- ◆講 師 藤場俊基氏(金沢教区常讃寺)
- ◆内 容 『教行信証』『化身土巻』
- ◆対 象 どなたでも(申込不要)
- ◆参加費 1回4,000円(研修冥加金含む)
- ◆持ち物 真宗聖典、間衣、輪袈裟、略念珠、筆記具
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西村)

### 教務所からのお知らせ

#### ◎第2次教区改編説明会の開催について(報告)

去る2020年11月10日(火)19時から21時及び11日(水)14時から16時(両日とも30分延長)、三条別院本堂にて、本山から高野教導 中央改編委員(仙台教区教区会議長)、井上 博 中央改編委員(高田教区宗議会議員)、延澤栄賢 真宗大谷派宗務所組織部次長に出向いただき、三条・高田教区の第2次教区改編説明会が開催され、延べ89人(住職48、坊守8、衆徒12、門徒16、宗議会議員2、参議会議員3)の方が参加されました。



青木 仁 三条教区・高田教区地方協議会会長(写真中央)

説明会は、青木 仁 三条教区・高田教区地方協議会会長(三条教区教区会議長、第20組圓周寺)の挨拶により始まり、①延澤組織部次長から、宗派の教区改編の取り組みについて、教区改編を推進する宗門の財政に関する説明と今年7月に先行して新教区として発足した「岐阜高山教区」及び「九州教区」の例について紹介がありました。続いて、②中央改編委員のお二人からは、三条教区からの代表質問に対する応答をいただき、③三条・高田教区改編の取り組みを確認した後、④全体質疑応答の時間が1時間持たれました。

説明会当日の資料及び質疑応答記録(高田教区10月27日・29日開催の内容を含む)を後日、全寺院発送いたします。

また、本年の各組教務所長巡回及び説明会でご要望い

② 三条教区教化重点施策「報恩講話活性化プロジェクト」／「ありがとうございます、誰にいいですか。」親鸞聖人にあいにく。報恩講。

ただいた、更なる意見交換の場を設けることについて、教区改編委員会では、各組ごとにご希望に応じていくこととしましたので、ご希望がある場合は、組長様にご相談ください。

◎三条教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業に関する検討委員会が発足

来る12月10日(木)、第1回三条教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業に関する検討委員会が開催されます。2023年の慶讃法要に向けた新たな一歩が歩み出されます。委員の皆さんを下記のとおり、ご紹介します。(敬称略)

- |         |          |                      |
|---------|----------|----------------------|
| 青木 仁    | 第20組 圓周寺 | 教区会議長                |
| 堀川 秀道   | 第16組 浄専寺 | 教区副議長                |
| 田伏 研二   | 第15組 浄覺寺 | 教区門徒会会長              |
| 廣井 肇    | 第13組 万休寺 | 教区門徒会副会長             |
| 池田 陽    | 第18組 長周寺 | 教区教化委員会<br>企画委員会委員長  |
| 佐々木 恵一郎 | 第10組 行通寺 | 教区教化委員会<br>企画委員会副委員長 |
| 石塚 亜里   | 第15組 長泉寺 | 教区坊守会副会長             |
| 廣河 香納子  | 第21組 光照寺 | 教区坊守会副会長             |
| 奥田 富子   | 佐渡組 勝廣寺  | 教区門徒会常任委員            |
| 齋木 裕司   | 第10組 浄覺寺 | 推進員連絡協議会長            |
| 大溪 文祥   | 第24組 榮行寺 | 同朋の会教導連絡協議会長         |
| 細川 万里絵  | 第17組 護念寺 | 仏青研修会部門スタッフ          |
| 本間 正紹   | 第23組 善照寺 | 仏青研修会部門スタッフ          |
| 多田 誓    | 第10組 專徳寺 | 別院報恩講法要部会            |
| 渡邊 智龍   | 第18組 恩長寺 | 別院教化審議会              |

◎本山経常費年末完納について

毎年お願いをしております本山経常費につきまして、本年度の年末完納の扱いは2021年1月20日(水)となっております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

なお、ご完納の際、法要座次・衣体許可等の申請をご希望される方は、教務所までご相談ください(年末完納での申請の際は、額を10分の8に減額することができます)。

◎門徒用授与物調製の遅延について

既報のとおり、7月1日の大谷暢裕 新門首の就任に伴う奥書をあらためた授与物の調製が、コロナウイルス感染症の影響を受け10月末現在においても遅れが続いています。

特に、50代以下のお脇掛け(名号・御影)及び100代以上の無金表装の授与物全般、150代以上のお脇掛け(御影)につきまして、在庫が揃わない状況です。在庫の無い授与物については「予約」を承り、本山(財務部)に入庫次第、回送してもらえよう要請いたします。

ご寺院・ご門徒の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

◎出版物の紹介

『大原千鶴のお斎レシピ 素材をたのしむ精進料理』



著者 大原 千鶴  
発行 東本願寺出版  
発刊 2020/11/12  
頁数 88頁  
価格 1800円(税別)

『お斎レシピ みんなでおいしい精進料理』第2弾。

仏事に際していただく「お斎(とき)」には、縁ある者が共に

いのちをいただくという心が込められています。そのお斎の伝統と精神を大切に、京都で生まれ育った料理家・大原千鶴さんが、京都・東本願寺発の「お斎レシピ」としてアレンジ。素材から選べて、かんたんに、おいしく作れる精進料理77品を紹介。

◎教区・別院行事予定

コロナ流行の状況により、今後、中止・延期または開催形態が変更される場合があります。

2020年	
12/1(火) 12:00	教区坊守会役員会学習会・会議
12/2(水) 14:00	保育研究部会
12/3(木) 16:00	教行信証輪読会
12/4(金) 14:00	研修部会事前打合わせ 別院 DODALO カード小委員会 別院教化審議会
15:00	
12/7(月) 14:00	別院報恩講教化部会
12/8(火)	～9日(水) 教学研究会①
12/9(水) 14:00	別院報恩講財務部会
18:30	別院書道教室
12/10(木) 14:00	教区宗祖御誕生慶讃事業検討委員会 教化センター
12/11(金) 14:00	教区門徒会研修会
12/13(日) 10:00	別院庭講・定例法話・有志の会
12/14(月) 14:00	別院報恩講実行委員会主査会
12/15(火) 10:00	女性研修会部門会議・学習会 御坊市執行部会議
12/16(水) 14:00	教区改編委員会
12/17(木) 14:00	教化センター
16:00	化身土輪読会
12/20(日)	第18組すずはらい奉仕団
12/23(水) 18:30	別院書道教室
12/24(木) 10:00	別院フードバンク受け渡し 教化センター
14:00	
12/27(日) 13:30	宗祖御命日逮夜法要
12/28(月) 10:00	宗祖御命日日中法要
12/29(火)	～2021/1/7(木) 教務所事務休暇
1/13(水) 14:00	研修部会
18:30	別院書道教室
1/14(木) 14:00	教化センター
16:00	声明講習会部門会議
1/15(金) 14:00	同朋の会教導連絡協議会総会
1/20(水) 14:00	教区教化委員会企画委員会
1/21(木) 14:00	教化センター
1/25(月) 10:00	別院フードバンク受け渡し
1/26(火)	三条教区教導補導会研修会
1/27(水) 13:30	宗祖御命日逮夜法要
18:30	書道教室
1/28(木) 10:00	宗祖御命日日中法要
14:00	教化センター

新潟親鸞学会からのお知らせ

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄 超願寺内  
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783  
Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Email choganji@nifty.com